

守る。潤す。美しく。



わらの里で、地域とともに。



三春ダム





# 私は、三春ダム。

さくらの里で、地域とともに暮らしています。

MIHARU DAM - SAKURAKO



1998年(平成10年)、三春ダムは福島県のほぼ中央を流れる阿武隈川の右支川である大滝根川に、さまざまな役割を果たす多目的ダムとして完成しました。暮らしを潤し、地域の発展につなげていくために、幅広く活用されています。



## 「さくら湖」

春に梅、桃、桜が一度に咲くことからその名が付けられたといわれる三春。

恵まれた自然、あざやかな四季の移り変わりが特徴です。

この美しい地に広がる、ヤブダの葉のかたすの貯水池が「さくら湖」。

周辺一帯を含め、自然との調和を見事に保ちつつ、地域の皆さん、各地から訪れる皆さんにくつろぎを与える場として、親しまれています。

●ダムの緒元	●貯水池(さくら湖)
形式 : 重力式コンクリートダム	集水面積 : 226.4km <sup>2</sup>
堤頂標高 : EL336m	湛水面積 : 2.9km <sup>2</sup>
堤高 : 65m	総貯水容量 : 42,800,000m <sup>3</sup>
堤頂長 : 174m	洪水調節容量 : 28,000,000m <sup>3</sup>
堤体積 : 195,000m <sup>3</sup>	

集水区域

## 洪水から守る

阿武隈川では、大雨が降ると幾度か大規模な洪水がおり、尊い人命と財産が失われることがありました。三春ダムでは、想定氾濫区域となる三春町、郡山市、本宮市、二本松市、福島市に対し、洪水被害の軽減を果たしています。



## 美しい川を守る

晴天の日が続くと、川の水が減少し動植物に影響が出ます。三春ダムは、水を適切に供給し川の流れを保つことで、動植物のあるべき姿、うるおいのある景観を守っています。



## 田畑のかんがい

三春ダム周辺地域は、年間降水量が1,100mm程度(日本の平均は約1,700mm)と少なく、田畑の水の確保に苦労してきました。三春ダムは、水田や畑のかんがい用水として三春南部や郡山市東部地区に水を補給しています。



## 生活に、産業に

三春ダムでは、さくら湖に貯めた水が、生活用水(本宮市、郡山市、三春町、田村市)や工業用水(日本化学工業用水)に使われ、地域の生活や産業を支えます。



## 発電もしています

三春ダムには発電設備があり、ダム管理に必要な電気を発電しています。余った電気を電力会社へ売却しています。



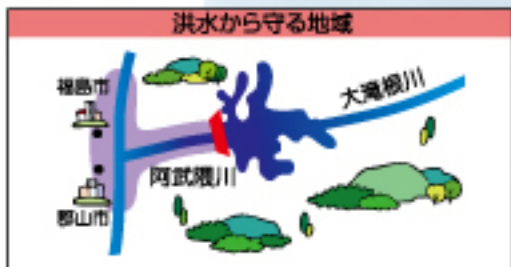


さくら湖の水質保全に  
取り組んでいます。

地域を守るため、洪水被害の  
軽減に努めています。

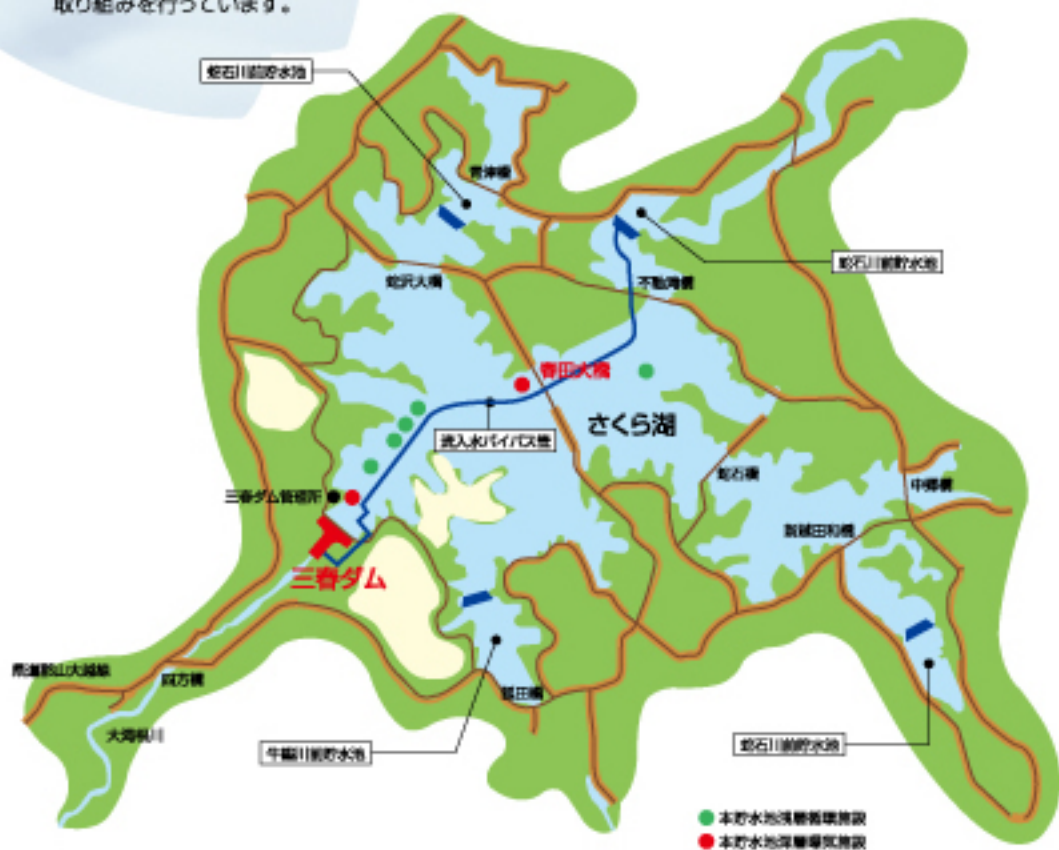
### 地域の人々の暮らしを守ります

ダムがない場合、大雨が降ると川は氾濫し大きな被害を出すことがあります。三春ダムは、洪水調節などを行って川の氾濫を防ぎ、大滝瀬川と阿武隈川に住む人々(36,000世帯、134,000人)の暮らしを浸水被害から守ります。



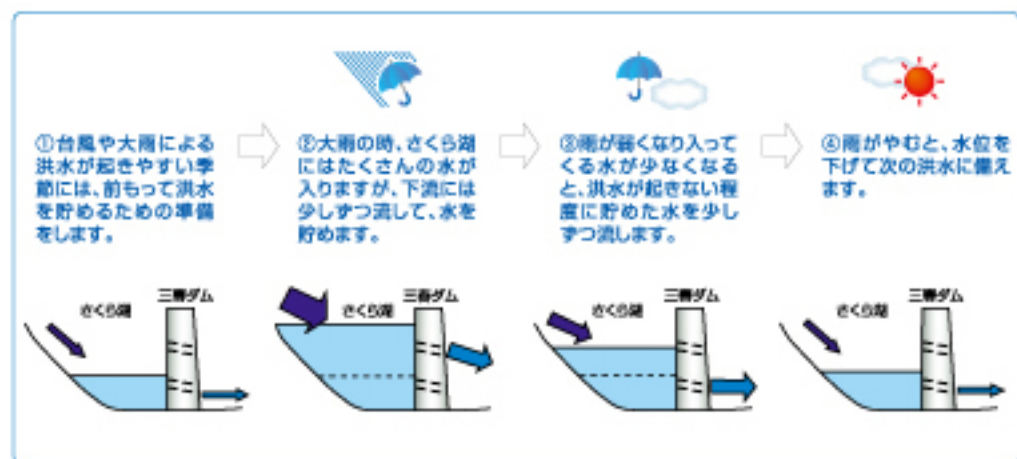
### 三春ダムの水質は?

さくら湖では、水温が上昇する夏期になると植物プランクトン(アオコ)が発生し、水質が悪化する場合があります。この水質を改善するには、流域内での下水道の整備などが必要ですが、実施されるまで長い時間がかかります。そこで、三春ダムでは植物プランクトンの増殖を抑制し、良好な水質を確保するためにさまざまな取り組みを行っています。



### 流量を調節して、下流の洪水被害を軽減します

三春ダムでは、台風や大雨によって流れ込んでくる洪水を、貯め込むためあらかじめ空けておいた貯水池に貯めこみ、下流には流して安全な分だけダムから水を流すことにより、ダムがなかった場合に比べて下流の川に流れる水の量を減らします(洪水調節といいます)。ただし、異常な豪雨によりダムの計画より多い量の洪水が流れ込んできた場合、ダムに貯め込む量にも限界があるため、下流に流す量を徐々に増やし、流れ込んでくる水の量と同じ量を下流に流すことがあります。



### 放流警報

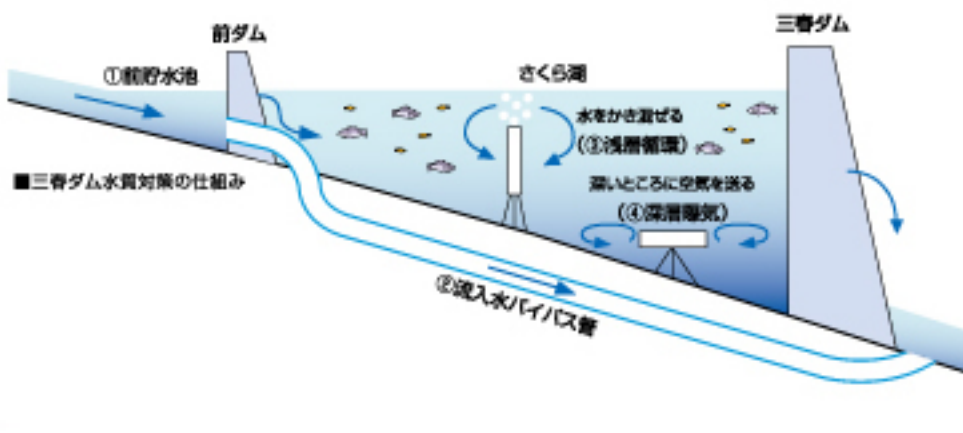
洪水調節の際など、ダムのゲートを開けて通常の放流量より多く放流するため、川の水位が高くなり、流れが速くなるので、サイレンを鳴らしたり、情報板に表示して皆さんにお知らせします。このとき河原に近付かないよう注意して下さい。



※洪水調節の実績は、三春ダムのホームページで公開しています。

### 水質保全の取り組み

- ①貯水池 前貯水池で、植物プランクトンの栄養源となる成分(窒素、リン)を沈め、さくら湖に栄養源が入りにくくしています。
- ②流入水バイパス管 植物プランクトンの栄養源(窒素、リン)を多く含んだ流入水をさくら湖に入れず、直接下流に流すことができます。
- ③浅層循環 植物プランクトンは、光と温度で増殖します。三春ダムでは、10~20mの水深から空気を吹き上げて、水面の温かい水と低い温度の水をかき混ぜて水温を下げます。また、かき混ぜることで水面の植物プランクトンを光のあたりにくい水中に沈め増殖を抑制しています。
- ④深層曝気 湖底には植物プランクトンの栄養源(窒素、リン)や、死滅した植物プランクトンが沈んでいます。酸素が少ない湖底で腐敗すると水面の植物プランクトンの栄養源となるので、湖底に酸素を送り腐敗しないように工夫しています。





地域と一体に  
取り組んでいきます。

新たなダム管理に  
向けて。

### 川の環境を考えた管理

ダム下流河川の清流を回復するため、河川環境の改善のために、ダムの洪水調節容量の一部を有効に活用しています。

三春ダムでは、洪水調節容量を利用して「リフレッシュ放流」をしています。



### リフレッシュ放流 (ダム下流河川のより良い環境を守るための放流)

ダム下流の河川は、一定量の水しか流れないために、夏場は川底の石に藻が付いたり、臭いの原因となる「よどみ」がでやすくなり、環境・景観に悪い影響を及ぼします。そこで放水量を増やして定期的に川の汚れを洗い流そうというのがリフレッシュ放流で、三春ダムでは、洪水期(8~10月)に2週間に1回程度の割合で放流しています。



※「リフレッシュ放流」のスケジュールはホームページで確認できます。

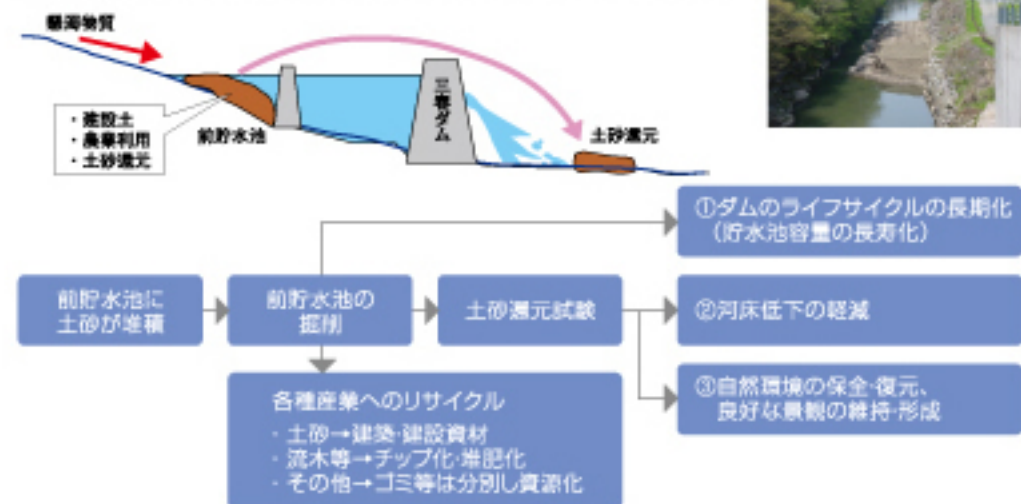
リフレッシュ放流前

リフレッシュ放流後

リフレッシュ放流(20m³/秒)によって「よどみ」に溜まった藻類などが洗い流されました。

### 総合的な土砂管理

三春ダムでは上流から流入する懸濁物質(水質悪化要因となる)をいったん滞留させ土砂と共に沈殿させる目的で前貯水池を設置しています。前貯水池には堆積した土砂が蓄積していくために、定期的に土砂を撤去する必要があります。また、ダムの建設により上流からの流出土砂がダムで遮断されるため、下流河川に土砂が供給されないため河床低下や周辺環境への影響が懸念されます。そこで、三春ダムでは前貯水池から撤去した土砂の処理又は再利用として、土砂還元試験や各種産業へのリサイクル砂管理を試験的に取り組んでいます。



土砂の堆積状況

土砂の還元状況(下流への供給)

### さくら湖水源地域ビジョン

「さくら湖水源地域ビジョン」は、流域の住民、自治体、ダム管理者が一体となり、さくら湖流域全体が暮らしやすく元気になるための方法と考え、誰が何をどうすれば良いのかを示しているものです。このビジョンでは、さくら湖流域の目標像を「里山の環境と知恵をつなげて日本一美しいさくらの里を築く」とし、さくら湖流域のテーマを次のように定めてみんなで動き始めています。

地域の自然を知り、  
守り育てる。

さくら湖流域を流れる川の水質、生き物、森林や田舎などの情報を集め、長く知り、未来まで守り育てていくことを目指しています。

地域の資源を、  
活かす。

さくら湖流域の祭りなどの歴史、文化、多岐の産物などを大切に守り、観光資源として確かに伝えていくことを目指しています。

地域をつなげ、  
発信する。

さくら湖流域に生きる人々の強いつながりをさらに、全国へ向けさまざまな魅力をアピールすることを目指しています。

### 地域に開かれたダム

三春ダムは全国に先駆けた「地域に開かれたダム」として、三春ダム資料館をはじめとした周辺施設を一般に開放することによって、広く皆様にご利用いただいています。



三春ダム資料館

1階の展示ギャラリーでは様々な作品展示をしています。また2階の展示室ではダムの役割やしくみについて楽しみながら学ぶことができます。



石原水生生物観察場



三春ダム見学会



さくら湖自然環境フォーラム



湖の平野外祭り



清瀬コース



さくら湖マラソン



みずフォーク



さくら湖自然教室



## 三春ダム周辺案内



### 三春ダムの略歴

昭和43年12月	ダムの予備調査を開始	平成9年7月	資料館オープン
47年5月	大滝根川調査事務所設置	10年3月	三春ダム竣工
50年4月	三春ダム工事事務所に組織改正	10年4月	三春ダム管理所に組織改正
54年8月	ダム基本計画告示	10年8月	洪水において、東北地建で初めて ただし書き操作(全量カット)を実施
55年4月	水特法による指定ダム告示	11年5月	土砂還元試験スタート
59年12月	ダム建設に伴う損失基準の妥結 (約160世帯の移転)	12年6月	ダム管理において 弾力的管理(リフレッシュ放流)をスタート
63年11月	ダム本体工事着工	12年11月	「さくら湖自然環境フォーラム」スタート
平成2年10月	ダム本体コンクリート打設開始	13年4-5月	初の濁水補給(阿久津の維持流量を守るため)
4年12月	ダム本体コンクリート打設完了	14年7月	台風6号による洪水の際、 2回目のただし書き操作(全量カット)を実施
5年4月	「地域に開かれたダム」に指定	19年2月	「さくら湖水源地域ビジョン」策定
6年5月	ダム湖名「さくら湖」に決定		
8年10月	試験湛水開始		

さくらの里で、地域とともに。

## 三春ダム

### 国土交通省 東北地方整備局 三春ダム管理所

〒963-7722 福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内403-4  
TEL. 0247-62-3145 FAX. 0247-62-3170

三春ダムwebサイト

リアルタイム情報配信中!

<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu/>

※リアルタイム情報:ダムの貯水位や流水量などの情報が閲覧できます。